

年4回 毎定例会後発行

<http://www.soka-shigikai-unet.ocn.ne.jp>

市長提出議案の概要…………… 1ページ
市政に対する一般質問…………… 2～3ページ
市長提出議案の議決結果…………… 3ページ
施政方針演説に対する代表質疑…4～5ページ
予算特別委員会の審査概要…………… 6ページ
常任委員会の審査概要…………… 7ページ
議員提出議案の概要と議決結果…………… 8ページ



平成19年2月定例会は、2月21日から3月19日までの27日間にわたって開かれ、市長から36議案が提出されました。そのうち、閉会中の継続審査とした草加市高齢者及び障害者住宅改善整備資金融資条例を廃止する条例の制定についてを除く、35議案を原案どおり可決・同意しました。委員会提出議案は、第7号議案、平成19年度草加市一般会計予算に関する付帯決議を可決しました。議員提出議案は、草加市土地開発公社所有地の適正化を求める決議など7議案が提出され、すべてを可決しました。開会日には、平成19年度の市政運営に臨む市長の政治姿勢や所信について施政方針演説が行われ、これに対し、各会派代表6人の議員がそれぞれ質疑を行いました。市長提出議案に対する質疑では、6人の議員が質疑を行いました。市政に対する一般質問では、15人の議員が4日間にわたり、諸施策について執行部の方針や見解をそれぞれたてました。

今定例会提出の市長提出議案は、36議案中、人事案件及び最終日に追加提出された1議案を除く34議案が特別委員会及び所管の常任委員会に付託され、審査が行われました。ここに掲載したものは、市長提出議案の主なものについて提案理由の説明をもとに要約したものです。

新狹き、食所に働ける方にも文
しては、その退院の日まで
支給するものです。

なお、支給対象年齢を拡大したことに伴い、条例の題名を「草加市子ども医療費支給に関する条例」に改めるとともに、条文の所要の整備を行うものです。

施行期日は、平成19年4月1日。

草加市乳幼児医療費
支給に関する条例の
一部を改正する条例

子どもの保健の向上及び福祉の増進を図るとともに、医療費の負担を軽減するため、入院に係る乳幼児医療費の支給対象を拡大するものです。

内容は、これまで、満6歳に達する日以後の最初の3月31日までを支給対象としていた乳幼児医療費を、入院に限り満15歳に達する日以後の最初の3月31日までに引き上げるものです。

また、中学校等の就学義務

務猶予・免除に係る方に対しては、その退院の日まで支給するものです。

なお、支給対象年齢を拡大したことに伴い、条例の題名を「草加市こども医療費支給に関する条例」に改めるとともに、条文の所要の整備を行うものです。

施行期日は、平成19年4月1日。

急速な少子高齢社会の進展に伴い、高齢者を敬い長寿を祝福するため、敬老祝金の支給対象者及び支給金額を改めるものです。

内容： 毎年5月1日に
草加市の住民基本台帳に記
載されている方、または外
国人登録原票に登録されて
いる方で、その年の8月1
日において、75歳以上で引
き続き居住している方に、
1万5000円の市内共通
商品券を支給していたもの
を、8月1日において、満
77歳の方に2万円、満88歳
の方に3万円、満99歳の方
に5万円の市内共通商品券

をそれぞれ支給することに変更するものです。

施行期日は、平成19年4月1日。

平成19年度
草加市一般会計予算

予算総額は、590億4700万円で、前年度と比較して8・7%、金額にして47億4050万円の増と
するものです。

歳入の内訳は、市税34億5000万7000円、地方譲与税5億3000万円、地方消費税交付金0万円、地方消費税交付金17億7000万円、地方交付税14億円、国庫支出金53億6448万5000円、

固定資産評価審査 委員会委員の選任

浅野 典久氏

平成19年5月31日をもって任期満了となる委員の後任として、浅野典久氏（花栗四丁目14番9号）を選任することに同意を求めるものです。

2月21日(水)...開会、施政方針演説、市長提出議案の上げ、
市長提出議案に対する質疑(第7号議案)、
特別委員会の設置(第7号議案を付託)、
一般会計予算特別委員会委員の選任、
一般会計予算特別委員会

2月26日(月)..総務文教委員会、議案の撤回（平成18年の第115議案）
施政方針演説に対する代表質疑

2月27日(火)..施政方針演説に対する代表質疑

2月28日(水)..一般会計予算特別委員会

3月1日(木)... 一般会計予算特別委員会

3月2日(金)... 一般会計予算特別委員会

3月5日(月)... 一般会計予算特別委員会

3月6日(火)... 一般会計予算特別委員会
3月7日(水)... 市長提出議案に対する質疑、市政に対する一般質問

3月8日(木)... 市政に対する一般質問

3月9日(金).. 市政に対する一般質問

3月12日(月)... 市政に対する一般質問、議案及び請願の各常任委員会付託

3月13日(火)...常任委員会(総務文教、福祉環境、建設委員会)

3月14日(水)... 常任委員会(福祉環境委員会)

3月19日(月).. 議案及び請願の常任委員会の閉会中の継続審査、議案の上程、各委員長報告、
第7号議案の修正案の上程・質疑・討論・採決、
市長追加提出議案の上程・質疑・討論・採決、
委員会提出議案の上程・質疑・討論・採決、
議員提出議案の上程・質疑・討論・採決、
議員の派遣の議決、閉会

市政に対する一般質問

ここに掲載したものは、すべての質問の中から1人の議員につき1項目を選び、質問、答弁の要旨を記したものです。（掲載は発言順です）

高年者福祉センター増設の考えは

（質問）飯田議員「高年者福祉センターふれあいの里は世代間交流や市民交流の拠点となり、利用者数も多く、市民にとって大変良い施設だと考えているが、平成18年度における利用者数、使用料収入及び運営費用の見込みは、指定管理者の運営についての評価は、今後も指定管理者を継続する考えは、高年者福祉センターのような施設を市内に増やす考えは、

（答弁）健康福祉部長「延べ利用者数では23万5000人、施設使用料として16万2000円、管理運営委託料として8336万7000円を見込んでいます。利用者の評判も好ましい

意見が多く、指定管理者として一定の評価ができる。条例上の規定や競争性の担保という面から継続ではなく公募により決定する。高年者の生きがいづくりや交流の場を提供する施設として市内全域への設置が理想的ではあるが、公共施設の建設は公共施設配置計画の中で計画的に進めており、現時点で施設を増やす予定はない。

住宅用防災警報器購入時の障がい者等に対する補助の考えは

（質問）西沢議員「消防法の一部改正により住宅用防災警報器の設置が義務付けられた。普及に伴い悪質訪問販売の横行が懸念されるが悪徳業者の予防対策はまた、障がい者はそれぞれの障がいによって設置する警報器の種類も変わり、購入価格も一般のものとは違うと思うが、市として購入費用の補助等を行う考えはないのか。

（答弁）消防長「悪質訪問販売対策として、各種広報紙及び各自主防災組織の防災訓練等を活用して啓発活動を行い、また、国・県及び警察と連携を図りな

無料妊婦健診拡大の考えは

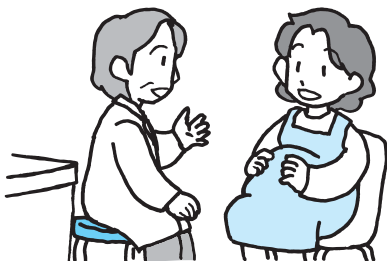
（質問）秋山議員「少子化の原因として子どもは欲しいけれど、経済的な理由で産むのをためらっているという子育て中の母親が多いことが民間のアンケート調査でわかった。妊娠初期から分娩まで約14回程度の受診が望ましいと言われているが、妊娠は病気ではないとの理由から医療保険が適用されず、通常の定期健康診査では4000円から5000円程度の費用がかかる。厚生労働省は平成19年1月に全額を国の負担で賄う無料健康診査の回数を現在の2回から5回以上に拡大することを決めたが、草加市としての対応は、

（答弁）健康福祉部長「平成19年1月16日付けで厚生労働省から妊婦健康診査における公費負担の望ましいあり方として国の基本的な考え方が示された。それによると、少なくとも5回程

消防西分署の建替計画は

（質問）斎藤議員「本年1月に消防西分署の状態を確認するため視察に行ったが、あまりの老朽化のひどさに驚いてしまった。建物の至るところに亀裂が入り、大規模地震が起こった際は、救助に行くべき消防分署がまず先に倒壊してしまつのではないかと懸念している。素人目にも危険だと感じたが、今後の建替計画は、また、第三次草加市総合振興計画、中期基本計画の実施計画の中で消防庁舎等整備事業として平成20年度に2300万円、平成21年度に1億8000万円の財政計画が示されているが、その内容は、

（答弁）消防長「西分署は昭和43年に建設され、耐震性や分署機能からも早期建



て替えの必要性を認識している。実施計画の期間内である平成19年度から平成21年度に西分署の建て替え等を計画的に進めていく。

市長「実施計画の中に含まれているのは、西分署建て替えに向けてどのように実現していくかを担当が積算した中で経費を算入したものである。

松原団地の建て替えにあわせた住宅施策の展開は

（質問）佐々木議員「松原団地は東洋一のマンモス団地と呼ばれ、草加市は松原団地とともに発展してきたと言っても過言ではない。

（質問）今村議員「昔は草加市の地場産業の一つである浴衣染めが東京本染め浴衣という名称で全国に販売されていたが、今では市内に残る押田染工場1件のみとなつてしまった。今まで注染技法を伝承するためにどのようなことを行ってきたのか。伝統技術を存続することはできないか。

（質問）飯塚議員「市内に点在する小規模公園は手入れもあまりされておらず、スペースも狭いためほとんど活用されていない。公園のない地域では小さな公園でも貴重なスペースであり、公園の少ない草加市だ

（質問）浅井善久議員「近年では明らかに降雨のパターンが変化しており、予測を超えた場合などのような形で被害を最小限に食い止めるかは50年、100年と将来を見据えた治水対策を進めたい。

将来を見据えた治水対策は

（質問）浅井善久議員「近年では明らかに降雨のパターンが変化しており、予測を超えた場合などのような形で被害を最小限に食い止めるかは50年、100年と将来を見据えた治水対策を進めたい。



開発により設置された小公園

（質問）中田議員「肺炎球菌ワクチンは高齢者の命取りになる細菌性肺炎に大変有効なワクチンであるが、市立病院での予防接種状況は、予防接種をした場合の自己負担額は、予防接種の有効性及び副作用は、肺炎球菌ワクチンの

（答弁）病院事業管理者「平成18年度で40件、保険適用外であり市立病院では6220円。当該ワクチンは生涯において1回の接種のみに限られており、2回目の接種についてはその有効性が確定していない状況である。インフルエンザの予防接種と同時に例えば相乗効果が期待できるため、高齢者の延命を期待でき、副作用の報告は極めて少なく安全性は非常に高いと考えている。肺炎球菌ワクチンは使用期限が短いことから、在庫を極力少なくし必要に応じて発注している状況である。

市長「公費負担の割合や実施形態について、関係する皆様と協議し慎重に見極めていく。



改修が進む古綾瀬川

市長提出議案の議決結果

議案名	議決結果
第115号議案 草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例（平成18年）の制定について	撤回
第1号議案 平成18年度草加市一般会計補正予算（第3号）	原案可決（全員）
第2号議案 平成18年度草加市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員）
第3号議案 平成18年度草加市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決（全員）
第4号議案 平成18年度草加市老人保健事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決（多数）
第5号議案 平成18年度草加市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員）
第6号議案 平成18年度草加市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決（全員）
第7号議案 平成19年度草加市一般会計予算 第7号議案の修正案は否決されました。	原案可決（多数）
第8号議案 平成19年度草加市公共下水道事業特別会計予算	原案可決（全員）
第9号議案 平成19年度草加市交通災害共済事業特別会計予算	原案可決（全員）
第10号議案 平成19年度草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計予算	原案可決（全員）
第11号議案 平成19年度草加市駐車場事業特別会計予算	原案可決（多数）
第12号議案 平成19年度草加市老人保健事業特別会計予算	原案可決（全員）
第13号議案 平成19年度草加市国民健康保険特別会計予算	原案可決（多数）
第14号議案 平成19年度草加市介護保険特別会計予算	原案可決（多数）
第15号議案 平成19年度草加市水道事業会計予算	原案可決（全員）
第16号議案 平成19年度草加市立病院事業会計予算	原案可決（全員）
第17号議案 草加市特定非常災害特別措置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第18号議案 草加市立谷塚ふれあいセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第19号議案 草加市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第20号議案 草加市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第21号議案 草加市開発・建築関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第22号議案 市民温水プール設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第23号議案 草加市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第24号議案 草加市高齢者及び障害者住宅改善整備資金融資条例を廃止する条例の制定について	継続審査（全員）
第25号議案 草加市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（多数）
第26号議案 草加市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第27号議案 草加市交通災害共済条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第28号議案 草加市いきいき消費生活条例の制定について	原案可決（全員）
第29号議案 草加市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第30号議案 草加市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（全員）
第31号議案 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決（多数）
第32号議案 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決（全員）
第33号議案 埼玉県都市競艇組合規約の変更について	原案可決（全員）
第34号議案 東埼玉資源環境組合の規約変更について	原案可決（全員）
第35号議案 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意（全員）
第36号議案 草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例の制定について	原案可決（全員）

防災公園の整備に伴い
住民や議会との
合意形成は

〔質問〕平野議員「今様・草加宿事業の防災公園街区整備事業は、都市再生機構にお願ひして防災公園の整備と一体に市街地の面的整備を行うものだが、防災公園街区整備事業を都市再生機構にお願ひした場合に草加市が当該機構に支払う事務費の総額は、当該事業は土地収用法適格事業とのことだが、地主が応じなければ強行的に土地収用法を使用することを想定しているのか。綾瀬川左岸広場の拡張整備、綾瀬川左岸道路の整備及び富士製革工業跡地の利用は、住民や議会の同意を得ないまま事業着手はしない」と一般会計予算特別委員会で各部長が答

弁をしたが、市長の考えは（答弁）総合政策部長「業務の範囲や事業期間等がいずれも未定のため、現段階では算出できない。強権的な発動は予定していないため、地権者との合意が前提である。市長」事業を進めるに当たっては、住民や議会との合意形成が図れないまま事業に着手することはあり得ない。



草加中学校

中学校における
学校選択制の現状は

〔質問〕関議員「学校選択制は草加中学校と栄中学校に人気偏り、草加中学校では抽選を行ったと聞いているが、希望者全員を受け入れられなかった理由は、抽選に漏れた生徒への対応は、選択制希望者の

の主な理由は、

（答弁）学校教育部長「希望者全員を入学させたいが、余裕教室の状況や今後の入学予定生徒数を考慮し受け入れ定員数を設定したところ、希望者が定員数を超えたため抽選会を実施した。他市では入学辞退者が出た場合に繰り上げ入学を認めているが、草加市では入学辞退者を見込んだ

防災査察の実施と
改善状況は

〔質問〕須藤議員「平成19年1月20日に兵庫県宝塚市のカラオケボックスで大規模な火災があり8名が死傷する痛ましい事故があったが、草加市内における平成18年度中の査察実施状況

は、査察で明らかとなった消防法、建築基準法の違反件数及び指示方法は、違反個所の改善状況は、

（答弁）消防長「平成19年2月末現在で257件実施した。違反等の指示事項は427件で文書により是正指導した。大半が改善されていることを確認しているが、一部に未是正のところがあり、期間を限定し継続して指導を行う」。

都市整備部長「国土交通省から緊急立ち入り調査の依頼があり平成19年1月25日から1月31日の間、消防本部と合同で21件の現地調査を実施した。建築基準法違反物件が1件あり口頭で安全対策の指示をする

とともに、建築物所有者管理者に対して文書等により早期改善、違反個所の使用中止を指示した。今後

改善報告書に基づき是正の確認を行う。

柿木町地区で将来を
見越したまちづくりの
考えは

〔質問〕小川議員「柿木町地区は草加市で最後に残っている市街化調整区域であり、その市街化調整区域は市域の9・6%しか残っていない。しかしこの柿木町地区には墓、資材置き場



柿木町地区

大型自動車の駐車場等が増えており、夢を持って次の世代に引き継げるようなまちをつくり出していかなければいけない。隣接する越谷市では自然を生かした形でレイクタウン構想が進み、これを生かした開発ができればこの先大きな事業のときにもぜひ草加市に来てもらいたい、そう思えるようなまちを今、私たちはつくっていかなければならないと思うが市長の考えは、

（答弁）市長「柿木町地区は周りの環境が大きく変化しており、今が未来に向かつてまちづくりを行う最も重要な時期である。隣接した地域で大きな開発が行われるのであれば、その良さを引き出しな

がらこの地域の持つ素晴らしい歴史・文化・自然を維持し、多くの皆さんに愛されるまちになるよう私もその責任を果たしていく。

八条白鳥交差点
南側への道路築造の
考えは

〔質問〕鈴木議員「東埼玉道路が開通し便利になった半面、国道298号と交差する八条白鳥交差点の南側道路の交通量が非常に多くな

った。昨年12月には大型車通行規制を実施し一定の効果は見られたが、平成20年には越谷レイクタウンがまち開きをし、大規模商業施設の出店が予定されているため、交通量の増加は避けられない。八条白鳥交差点から県道草加流山線につながる新しい道路築造が必要と考えるがどうか。

（答弁）都市整備部長「八条白鳥交差点は八潮市にあるため、八潮市と連携を進めるため協議会を設置し安全で良好な道路環境を形成する解決策の検討を行いたいと考えている。

市長「新たな道路を造ること



八条白鳥交差点

とも想定されることから、八潮市と事務連絡協議会を設置し協議を始める。交差点周辺地域の皆様にとって早期に安全で良好な道路環境が形成されるよう、新たな道路を造ることも含め、解決策の立案を進めたいと考えている。

ポイ捨て及び飼い犬の
ふんの放置の防止に
関する条例の活用は

〔質問〕石村議員「草加市ポイ捨て及び飼い犬のふんの放置の防止に関する条例が施行されたが、一部の市民は犬のふんをそのまま放置している状況が続いており、市側の対応もいつかり示されていない。条例が施行されてもそれが生かされていないように思うがどう考えるか。

（答弁）市民生活部長「条例施行後、苦情の多い地域にはパトロールを実施し犬のふん防止看板の設置、啓発用チラシ等の配布により条例の周知や飼い主への指導を行ってきた。また、ポイ捨て犬ふん防止強化週間を設け、関係部課の協力を得て苦情の多い地域や公園、河川等を中心に朝夕のパトロールを実施してきた。今後も、苦情の多い地域は重点的にパトロールや啓発活動を実施するとともに、ポイ捨ては条例に違反した行為であることを強くお知らせし、繰り返し違反する者や悪質な者に対しては指導、勧告、命令を行い罰金を課すなどの対応を図っていきたい。

予算特別委員会の審査概要

2月21日の本会議において、14人の委員で構成する一般会計予算特別委員会が設置されました。一般会計の予算審査は広範園のため、特別委員会を設置し、審査したものです。予算審査は、2月28日から3月6日までの5日間行われ、委員会では賛成多数により平成19年度草加市一般会計予算を原案どおり可決しました。また、委員会において、「第7号議案 平成19年度草加市一般会計予算に関する付帯決議を賛成全員で付すことが決定しました。以下は委員会における質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

歳入

【質疑】個人市民税における市民一人当たりの税額は、

【答弁】平成18年度が9万8200円、平成19年度が12万4500円で、2万6300円の増額。

【質疑】固定資産税の現年課税分が前年度対比で増額となっているが、土地の実

勢価格の状況及び増額となつた理由は、

【答弁】固定資産の評価に用いる標準宅地414地点で不動産鑑定をしたところ、住宅地区で0・8％、商業地区で0・1％、工業地区で1・0％、市街化調整区域で1・7％、それぞれ下落しており、宅地全体の平均では0・7％の下落。また、増額の理由は平成6年に地価公示の7割相当を固定資産の評価にすることが全国で統一化され、その評価替えで5・38倍の評価となったが、緩和措置として、毎年、段階的に評価を近付けているため増額。

【質疑】保育園入園者負担金が前年度対比で5・9％

の増となっており、また、児童クラブ入所者負担金も増額となっているが、積算の根拠は、

【答弁】保育園入園者負担金については、私立保育園が1園新設されることによる延べ入園者数の増及び定率減税の廃止による所得階層の変動による負担金の増、児童クラブ入所者負担金については、入所者数は延べ376名減の見込みで積算しているが、保育料を現行6000円から7000円へ改定することを見込んでの増額計。

【質疑】まちづくり交付金の今様・草加宿公園整備7億5640万円の対象個所と、それぞれの補助率及び補助金額は、

【答弁】神明シテイスポーツが40％の補助率で1640万円の補助、綾瀬川左岸広場も40％の補助率で7億4000万円の補助。

【質疑】まちづくり交付金については、土地購入費の時価に対する40％の補助と、神明シテイスポーツの購入費5134万7000円及び土地評価



綾瀬川左岸広場

よる影響は、地方自治体ではマイナスでありプラスになったのは国だけであると言われているが、草加市への影響は、

【答弁】国庫補助負担金の一般財源化による影響として、所得譲与税で補てんされている部分を合わせた地方交付税の前年度対比では、8億2281万円ほど影響を受けている。

歳出

【質疑】職員一人当たりの給与の推移は、

【答弁】平成15年度が724万円、平成16年度が707万5000円、平成17年度が704万9000円、平成18年度見込みが691万円、平成19年度試算が6

【質疑】草加商工会議所から富士製革工業跡地についての提言書が出ているが、その内容は、

【答弁】「新草加イノベーション」シヨント構想」として綾瀬川左岸地区の富士製革工業跡地を産業創造や市民と産業人の交流の拠点にしたい、また産業の核を集めてほしいという内容。

【質疑】今様・草加宿綾瀬川左岸広場再生整備事業の公有財産購入費の内訳は、

【答弁】綾瀬川左岸広場の約3万1000㎡を草加市土地開発公社から買い戻すものであり、3年間の総額73億5000万円で取得する。平成19年度は24億4199万3000円を支出。

【質疑】綾瀬川左岸道路の道路測量作業及び実施設計

85万3000円。
【質疑】ラスパイレス指数及び県内の順位は、
【答弁】平成18年度は98・6で県内39市中13位

【質疑】暴力団による恐喝事件を受けて採用する警察官OBの配属先及び職務内容は、

【答弁】配属先は未定であるが職員課としてはいきいき市民相談担当への配属を考えており、職務内容は不当要求行為にかかわるアドバイスや研修など全庁的な対応を想定している。

【質疑】年度当初に予想される保育園待機児童の年齢別人数は、

【答弁】ゼロ歳児が17名、1歳児が63名、2歳児が43名、3歳児が34名、4歳児

の範囲は、

【答弁】綾瀬川左岸広場の東北端から県道草加流山線までの平面、縦断、中心及び線形決定等の業務委託を行う。また、実施設計も同区間を予定。

【質疑】放課後子ども教室の実施予定は、

【答弁】草加小学校、高砂小学校、氷川小学校、新栄小学校、勤労福祉会館、川柳文化センターのほか、新たに小学校3校で実施。

【質疑】学校給食の調理士は、1校当たり正職員を3名配置するという組合との協定は守られているのか。

【答弁】134名の調理士中、正職員は60名となる見込みで、24名不足

が14名、5歳児が5名であり、合計176名。
【質疑】こども医療費支給の入院分拡大に伴う対象件数及び影響額は、



食、本人負担400円として食の自立支援に向けて行うものでシルバー人材センターを活用することにより就労支援や配食時に安否の確認をする目的もある。

【質疑】敬老祝金支給について制度改正前後における対象人数及び予算額の変化は、

【答弁】改正前の75歳以上一律支給では1万2458名に1億8687万円を支給していたが、改正後の節目支給では1551人に3494万円を支給する。

【質疑】ケアホーム建設のための場所及び今後のスケジュールは、

【答弁】柿木町内で平成19年度中に土地を取得し、平成22年度中にオープンを予定

委員会提出議案

■第7号議案
平成19年度
草加市一般会計予算に関する付帯決議

平成19年度草加市議会2月定例会に市長が提出した平成19年度草加市一般会計予算では、綾瀬川左岸道路、綾瀬川左岸広場基本計画、富士製革工業跡地における市民交流拠点整備方針策定に関する予算を計上している。

一般会計予算特別委員会の審査を進める中で、N T T住宅を含め民間用地の買収が必要であるにもかかわらず、住民合意を得ないまま綾瀬川左岸道路及び綾瀬川左岸広場の設計業務が予

定
【質疑】各種がん検診の対象者数及び受診率の見込みは、

【答弁】胃がん検診は1875人が対象で定員制、大腸がん検診は2250人が対象で定員制、乳がん検診は1277人が対象で定員制であり、子宮がん検診は7万4163人が対象で5・1％、肺がん検診は21・9％の受診率を見込んでいる。



算計上され、更に富士製革工業跡地においては、使途も明確ではない状況であるにもかかわらず、整備方針策定の予算が計上されていることが明らかになった。

市民の貴重な財産である富士製革工業跡地の利用について議会との十分な議論もなく、現在に至っていることは甚だ遺憾である。

よって、綾瀬川左岸道路、綾瀬川左岸広場基本計画、富士製革工業跡地における市民交流拠点整備方針策定に関する予算については、議会及び市民との合意形成を得てから執行するよう強く求めるものである。

原案可決（多数）

委員会の構成は、次のとおりです。

佐藤 勇	委員長
田中 昭次	副委員長
須藤 哲也	委員
鈴木 由和	委員
小川 利八	委員
今村 典子	委員
秋山由紀子	委員
丹羽 義昭	委員
松井優美子	委員
大野ミヨ子	委員
新井 貞夫	委員
大久保和敏	委員
芝野 勝利	委員
石村 次郎	委員
(委員は議席番号順)	



市内の保育園

常任委員会の審査概要

各常任委員会は、一般質問終了後の3月13日・14日の2日間開催され、3月19日の本会議において、各委員長報告がなされました。以下は各常任委員会における質疑及び答弁の概要をまとめたものです。

総務 文教

平成18年度草加市一般会計補正予算(第3号)

【質疑】 まちづくり交付金が当初の補助率である40%を大きく超えて交付される理由は、

【答弁】 まちづくり交付金は、従前の補助金と違い複数年にまたがる総事業費に對しての交付が可能であり、全体を調整する中で、今年度分の補助率としては40%を上回る。

【質疑】 新田整形外科医院及び阿部鍼灸院からの老人保健返還金に伴う損害金の内訳は、

【答弁】 分割払いのうち平成18年度分として、医療機関から56万7068円、鍼灸院から48万6077円。

【質疑】 私立幼稚園就園奨励費補助金の制度変更の内容と第2子の基本的な補助単価減額による影響は、

【答弁】 幼稚園に就園している子どものみを対象に第1子、第2子と数えていたものを、小学校1年生に兄弟がいる場合は、その子どもを含めて数えるように変更となった。また、補助単価減額による影響は、幼稚園だけに第1子、第2子がいる家庭が対象で、人数で248人、金額で344万6000円の影響。

福祉 環境

平成19年度草加市国民健康保険特別会計予算

【質疑】 国民健康保険の保険証をカード化することとだが、被保険者への配布方法は、

【答弁】 普通郵便で予算計上している。

【質疑】 個人情報保護の観点などから普通郵便による配布は問題があるように思うが、市としての考え方は、

【答弁】 確実に被保険者に届けられるよう、先進市の事例も勘案し検討する。

平成19年度草加市介護保険特別会計予算

【質疑】 第1号被保険者保険料における普通徴収保険料の現年度分及び滞納繰越分の収納見込み率は、

【答弁】 現年度分は85%、滞納繰越分は10%。

【質疑】 市独自の介護保険料減免制度が改正され減免額が減額されているが、平成18年度対比の対象人数及び

【答弁】 普通郵便で予算計上している。

建設

平成18年度草加市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

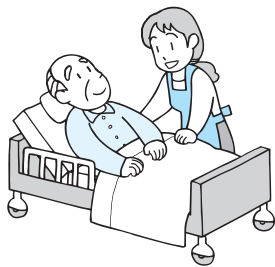
【質疑】 駐車場使用料の減額理由は、

【答弁】 郊外型大型商業施設のオープンや駅周辺の駐車場の増加の影響により平成18年4月から12月の使用料収入が予定に達しなかったため。

平成19年度草加市公共下水道事業特別会計予算

【質疑】 歳入において負担金を増額しているが新たな賦課対象地域は、

【答弁】 新里町が32・5ha



【質疑】 地域支援事業の対象者である特定高齢者は、国では5%を目指しているが、草加市での割合は、

【答弁】 対象者は約600名で、率にして1・59%。

草加市乳幼児医療費支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【質疑】 通院の支給対象年齢を1歳引き上げると幾らの支出が見込まれるのか。

【答弁】 約3500万円の支出増。

草加市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について

【質疑】 敬老祝金を節目支給とする理由として、県内で一律支給を行っているのは草加市だけとのことであったが、調査したところ川

【答弁】 平成18年度当初では717名、833万3000円としたものを、平成19年度では245名、金額で296万9000円。

【質疑】 要介護1以上における特別養護老人ホームの待機者数は、

【答弁】 平成18年9月現在で315名。

新田西部土地区画整理事業地内の公園

平成19年度草加都市計画新田西部土地区画整理事業特別会計予算

【質疑】 繰入金金の増額理由は、

【答弁】 事業も終盤に差しかかり保留地処分金及び国庫補助金など特定財源が減少し、また、地方債償還金が増加したため。

【質疑】 公園の整備予定及び進捗率は、

【答弁】 事業全体で13公園の整備予定のうち長栄町第8公園の1箇所をみどり公園課で整備し、進捗率69・2%を予定。

【質疑】 街路築造や保留地処分などは90%を超えているのに公園だけ進捗率が低い理由は、

【答弁】 公園の外構部分は

額が引き上がる制度を設けており、これまでの草加市の一律支給が一層優れているわけではないことがわかったが、川越市の制度は調べたのか。

【答弁】 一律支給は草加市だけであり、川越市では75歳から毎年支給され、以降5歳ごとに1000円ずつ段階的に引き上がる段階支給となっている。

【質疑】 商品券での支給ではなく現金支給とする検討はしたのか。

【答弁】 過去に検討した経緯から、現金を戸別配布する場合の問題点として、現状の損害保険では対応できず、新たに保険をつくってもらうには多額の保険料が必要になる。



草加市立病院

平成19年度草加市立病院事業会計予算

【質疑】 年間患者数の積算根拠は、

【答弁】 入院は病床利用率を75・1%で見込み、産科の再開は見込まず、外来は過去の実績を勘案し積算。

【質疑】 給与費が平成18年度対比で増額となっているが、平成19年度の医師数及び

【質疑】 医師1名を増員するに必要な人件費は、

【答弁】 草加市立病院は平成16年度全国自治体病院協議会の同種・同規模の88病院中、医師の給与水準は88位であり、一人当たりの平均年収は1300万円。

【質疑】 平成19年度の収支見込みは、

【答弁】 12億9435万6000円の赤字。

新田西部土地区画整理事業地内の公園

区画整理事業で整備しているが、公園内部に係る部分はみどり公園課で平成23年を目途に整備している。

【質疑】 繰入金金の増額理由は、

【答弁】 事業も終盤に差しかかり保留地処分金及び国庫補助金など特定財源が減少し、また、地方債償還金が増加したため。

【質疑】 公園の整備予定及び進捗率は、

【答弁】 事業全体で13公園の整備予定のうち長栄町第8公園の1箇所をみどり公園課で整備し、進捗率69・2%を予定。

【質疑】 街路築造や保留地処分などは90%を超えているのに公園だけ進捗率が低い理由は、

【答弁】 公園の外構部分は

閉会中の委員会のうごき(平成19年1月~19年2月)

- | | |
|-------|--|
| 1月16日 | 総務文教委員会(平成18年の第115号議案 草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例の制定について) |
| 1月26日 | 議会運営委員会(議会報について、検討事項について) |
| 2月6日 | 総務文教委員会(平成18年の第115号議案について) |
| 2月20日 | 議会運営委員会(2月定例会の運営について) |

議員提出議案

議員提出議案は、「草加松原団地の建て替えに合わせた市営住宅の借り上げに関する決議」など7議案が提出され、すべてを可決しました。可決した意見書は、関係行政庁へ送付しました。（要旨を掲載）

■草加市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、委員会委員をこれまでの「議長が会議に諮って指名する」から「議長の指名による」ものとし、その他の条文の所要の整備を行うもの。

原案可決（全員）

■草加市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、委員会が議案を提出する場合の手続を明記し、その他の条文の所要の整備を行うもの。

原案可決（全員）

■草加松原団地の建て替えに合わせた市営住宅の借り上げに関する決議

草加松原団地においては、現在建て替え工事が進められている。来年9月には建て替えが完了した住宅に仮移転中の住民が戻り入居する予定になっている。それに伴い、低所得の高齢者、障害者、母子家庭を対象とした公営住宅の整備を求めてきた。県営住宅の

整備も求めてきたが困難な状況と聞き及んでいる。よって草加市においては、A街区先工区における借り上げ予定戸数は11戸にこだわらず、他自治体の都市再生機構住宅の建て替えにおける借上率も参考に住民の状況に応じた市営住宅の借り上げを行うよう強く求めるものである。

原案可決（全員）



松原団地建替工事

■公開制度見直しなど戸籍法の早期改正を求める意見書

現在、個人情報の保護に関する法律の整備・進展とともに、行政機関等においても、より適切な個人情報の保護を図ることが喫緊の課題となっている。戸籍は個人の身分事項、家族関係などの情報が満載されているにもかかわらず

を進めること

医科大学の定員における地域枠の拡大を図るとともに、奨学金制度の充実など地元への定着を進めるための施策の充実を図ること。院内保育の確保や女性医師バンクの充実など、女性医師の仕事と生活の両立を図るための支援策を充実すること。

看護師、助産師の不足に對して積極的な対策を講ずること。

小児救急の電話相談事業充実のための対策を講ずること。

出産・分娩に係る無過失補償制度の早期創設を図ること。

原案可決（全員）

■公契約における適正な労働条件の確保に関する意見書

長引く不況を背景とした緊縮財政のもと、国や自治体がいわゆる公契約に基づいて発注する公共工事の事業量が減少し、企業間の競争が厳しさを増す中で、受注企業やその下請企業等、働く労働者の賃金や雇用体系は常に不安定な状態であり、労働者の生活に深刻な影響を及ぼしている。

よって国においては、公契約における適正な労働条件の確保を図るために、公契約の受注者に対し最低賃金法及び労働基準法の厳守を徹底させ、労働者の安定的な雇用・賃金体系の向上を図るよう強く求めるものである。

原案可決（全員）

■草加市土地開発公社所有地の適正化を求める決議

草加市土地開発公社が長期にわたり保有し、当初の事業目的どおりに使用されていないいわゆる「塩漬け」の土地となっているものが複数存在する。

これらの土地は、単に「塩漬け」とせず、駐車場や民間企業への貸し出しをして蔵入の確保に有効活用していることは一定の評価はできるが、これが本来あるべき形ではない。

取得目的と現在の使用状況、さらに財政状況も勘案する中で、早急に事業活用していくことが望まれるが、その見込みがないのであれば処分をしていかなければ、現状のままの「塩漬け」が続く、一部のための土地保有となりがねない状況である。

よって草加市においては、この現状を厳しく受けとめ、現在の状況を解消すべく迅速に方針を定め、実行し、適正化することを強く求めるものである。

原案可決（全員）



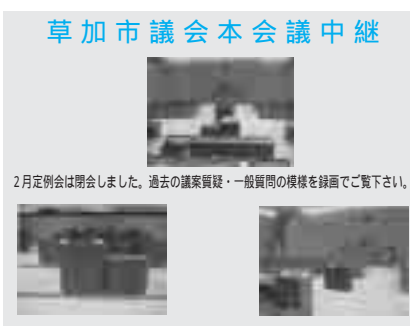
土地開発公社所有地

市議会の活動をインターネットでお知らせしています

草加市議会では、平成10年6月に市議会ホームページを開設し、インターネットを活用した市議会活動のPRに努めています。本会議での活動の様子や議論の内容などもインターネットでご覧になることができます。是非アクセスしてみてください。

ターネット中継を実施しています。

本会議中継を実施中
市民の皆さんに議会での議論の様子を積極的に公開していくこと、平成16年6月定例会から本会議のインターネット中継を録画でご覧下さい。



2月定例会は開会しました。過去の議案質疑・一般質問の様様を録画でご覧下さい。

ライブ中継では、本会議の開会から閉会までの全画像を、また録画放映では、収録3日後から過去1年分の質疑・質問等を24時間いつでも見ることが出来ます。活発な議論が交わされている様子を、皆さんも是非ご覧になってみてください。

会議録も検索できます

本会議や委員会での質疑等の内容を会議録としてまとめ、市役所情報コーナーや中央図書館で公開しています。

このうち、平成元年以降の本会議会議録と平成13年以降の委員会会議録については、市議会ホームページの「会議録検索」からご覧になることができますので、ご利用ください。

請願

継続審査となった請願

件名

草加市綾瀬川ピオトープ実現方について

請願者

草加市青柳二丁目6-9
草加市綾瀬川をきれいに
する会
会長 下元 幸男氏
ほか1446名

12月定例会で採択された
請願の処理結果

件名

草加駅西口の安全・安心
を求める請願書

処理結果

項目1 客引き等の防止対策につきましては、地元町会、商店会、風俗営業者等及び草加警察署と対応を協議し、各店舗に自粛を促すとともに安全な環境づくりを目的とする地域のルールづくりを進めております。

埼玉県警察本部へ設置を要望してまいります。

項目4 市民との協働のあり方を踏まえる中でより円滑な事業運営を推進してまいります。

件名

放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の充実を求める請願

処理結果

項目1 5・6年生児童の受入れについては、引き続き委託事業の対象としてまいります。

項目2 低学年児童の入室状況等を助成する中で、平成19年度から高学年児童を受け入れてまいります。

項目3 大規模児童クラブに係る指導員配置等の見直しの中で保育の水準を確

次の定例会は6月7日(木)からの予定です

問い合わせは議会事務局議事課まで ☎(922)2458